

老健ちば

なのはなだより

NANOHANA DAYORI

No. 61

October 2010

NANOHANA DAYORI



■とよさと「運動会のパン(ビスケット)食い競争」

INDEX

1
2

トレンドTOPIX 潮流
〈ニュースウォッチ〉

トラブル防止へ

「入所時リスク説明書(参考例)」を公表
—全老健

フォーカス「老健ちば」

〈平成22年度事務長会〉開催

〈平成22年度

第1回リハビリ部会に参加して

〈平成22年度

レクリエーション研修会に参加して

3
4

〈特集こうほうレポート〉ケアホーム白井

「広大な庭園での野菜づくり」

5
6

〈介護職員研修会〉

「高口光子氏の語る看護介護のリーダー論」

自由気ままに

ペーパーブログ

「半世紀以上を生きてきて」

うらら
杉田 桂子(准看護師)

「ST分科会よりのお知らせ」

7

〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

●ハートビレッジ

●メデイケア 君津

〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

平成22年10月20日 発行

●発行者/千葉県老人保健施設協議会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

全国老人保健施設協会が 「入所時リスク 説明書(参考例)」を公表



潮流

トレンド
TOPIX
ちょうりゅう

全 国老人保健施設協会（全老健）はこのほど、老人保健施設で発生しやすい事故の典型例をまとめた「入所時リスク説明書(参考例)」を公表した。利用者家族に対して、文書で具体的に事故のリスクを提示することにより、施設側と家族の間のトラブルを未然に防ぐ。全老健では、施設担当医のほか、支援相談員や施設の関係者などに対しても積極的に活用するよう呼びかけている。

説明書では、リハビリ施設として原則的に拘束を行わないために転倒・転落による事故が増える可能性があることや、利用者の状態が悪化した時に施設担当医の判断で病院に搬送する場合があることなど、施設における高齢者全般のリスクを紹介している。

全老健の担当者は「入所前の説明だけでなく、退所後に利用者が安全に生活するための注意書きとしても活用して欲しい」としている。

トラブル防止へ 「入所時リスク説明書(参考例)」を公表——全老健

ニ
ュ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

【入所時リスク説明書】(参考例)

入所者： _____ 様 年齢 歳 性別 _____
説明医師 _____

当施設では利用者が快適な入所生活を送られますように、安全な環境づくりに努めておりますが、利用者の身体状況や病気に伴う様々な症状が原因により、下記の危険性が伴うことを十分にご理解下さい。

《高齢者の特徴に関して》(ご確認いただきましたら□にチェックをお願いします)

- ☐ 歩行時の転倒、ベッドや車椅子からの転落等による骨折・外傷・頭蓋内損傷の恐れがあります。
- ☐ 老人保健施設は、リハビリ施設であること、原則的に拘束を行わないことから、転倒・転落による事故の可能性がありま。
- ☐ 高齢者の骨はもろく、通常の対応でも容易に骨折する恐れがあります。
- ☐ 高齢者の皮膚は薄く、少しの摩擦で表皮剥離がしやすい状態にあります。
- ☐ 高齢者の血管はもろく、軽度の打撲であっても皮下出血がしやすい状態にあります。
- ☐ 加齢や認知症の症状により、水分や食物を飲み込む力が低下します。誤嚥・誤飲・窒息の危険性が高い状態にあります。
- ☐ 高齢者であることにより、脳や心臓の疾患により、急変・急死される場合もあります。
- ☐ 本人の全身状態が急に悪化した場合、当施設医師の判断で緊急に病院へ搬送を行うことがあります。

特に〇〇様は、身体状況及び服用されている薬の影響などから、〇〇〇〇〇を起しやすと考えられます。このことはご自宅でも起こりうることで、十分ご注意いただけますようお願い申し上げます。

なお、説明でわからないことがあれば、遠慮なくお尋ね下さい。

私は、上記項目について、介護老人保健施設〇〇〇〇の担当医師より、入所者の貴施設利用時のリスクについて説明を受け、十分に理解しました。

平成 年 月 日

ご家族 _____ 印(続柄 _____)

※参考例では説明者を担当医師としているが、施設の事情に応じて「担当支援相談員」や「説明担当者」と表記することも可能。
※説明者を2名とすることも可。
※コピー等をとって、控えを利用者にお渡しする。
全老健ホームページ <http://www.roken.or.jp> 参照



「平成22年度事務長会」開催

6月22日に千葉老健協主催の事務長会議が開催されました。当日は、講演と各ブロックでの意見交換が行われました。

講演は㈱ネクサスコンサルティング事業部の島田 裕一氏より「介護職員の離職を考える」という現在の老健事情にマッチした内容で行われました。千葉県の老健数、介護職員数、介護労働の現状、賃金、離職率など、データに基づいた説明がされ非常に分かりやすかったです。その中でやはり目が行くのは、離職に対する理由でした。理由の中で多かったのは、精神的・体力的にきついが36.3%で最も高く、次に高かったのはやはり賃金が低い(32.4%)ことでした。因みに一番低い理由は、経営理念・運営方針が合わなかった(18.3%)でした。また、離職させないために施設側がおこなっている取り組みなども説明がされました。施設理念・ビジョンを示すこと、研修制度の設置、コミュニケーション等、どれもとても大切な重要な中身であることが再確認することが出来ました。



平成22年度 第1回リハビリ部会に参加して

佐倉ホワイエリハビリテーション科

理学療法士 佐田 龍吾

7月22日に千葉県労働者福祉センターにて平成22年度第1回リハビリ部会が『知っておきたい社会保険と介護保険でのリハビリ加算』というテーマで開催されました。56施設62名の参加で大変多くの方に参加していただきました。

午前の講義では、日本の保険診療・介護報酬のあらましから今後リハの報酬も少なくなるのではないかと予測をされていました。その中で、リハ職は技術・知識を高めるだけではなく、法律・政治・経営などにも目を向けるべきとの事でした。午後はリハ計画書の作成手順を具体的な症例を基にした講義でした。維持期のリハビリでは変化が少なくマンネリ化してしまいます。しかし、変化がないということは維持できており、そして何故維持できているのかを評価することが大切との事でした。また、グループワークにより情報交換も行われました。



平成22年度 レクリエーション研修会に参加して



アーバンセンター
たかむね ひろかず
介護福祉士 高旨 宏和

この度、レクリエーション研修会に参加させて頂き、前書きとして「レクリエーションの種類を紹介するものではありません」とあり、どのような内容の研修会なのだろうと思っていました。

レクリエーションを通して、入所者様に成功の喜びを感じて頂き、また少しずつ難易度や目標を上げ、それを乗り越える事によって生活の張り合いを得る事が大切とお教え頂きました。業務の中でのレクリエーションでは、内容という所に目が向きがちな現状の中で、改めて大事な事に気付かされました。また、それを実践に実践してみる事が難しい事です、自分が行うレクリエーションや体操などを、どの様に階段形式に成功目標を上げていくのか考え、行っていく事で自分自身のレクリエーションの幅も広がっていくのではと思います。

日々の業務に追われ、入所者様とのコミュニケーションが満足に行えていない現実の中で、人と人とが人間味のある時間を過ごす、レクリエーションの空間、考え方はとても大切にしていかなければいけないと、強く感じました。



豊かな緑の風に梨の花が揺れる白井の里 太陽の光をいっぱいに浴びて季節毎の新芽が息づく そんな風景につつまれて…

今回は
「広大な庭園での野菜づくり〜ケアホーム白井」
をご紹介します。

広報委員会は、7月27日(火)に白井市にあるケアホーム白井さんを訪問させていただきました。ケアホーム白井さんは昨年12月に行われた「研究事例発表大会」において、「野菜作りの喜び〜かわぐち食べれるねえ〜」というテーマで施設での園芸療法の取り組みを発表され、取材をお願いしました。

ケアホーム白井は豊かな緑に囲まれた梨の里の白井市にある施設で、広大な土地に恵まれた全館が平屋の造りになっていました。

当日は、豊里事務長、岩本ケアワーカーにご案内いただき、施設の中はともかくも広く家庭的な雰囲気、全館平屋造りの理由を伺うと理事長のお考えで「高齢者の方々が生活する上で土や植物に近い場所を提供したい」とのことでした。また、老健の中では認知症専門棟をいち早く取り入れた施設でもありました。

今回、取材目的である園芸療法の取り組みについて伺うと、もともと利用者さんの多くが昔から農業を営んでおり、近所の梨畑の跡地を施設で借りて、デイ

ケアの利用者さんを中心に畑での野菜作りが始まったそうです。広大な畑は「ありのみ農園」と名付けられており季節に応じた野菜を皆さんで育て収穫しておりました。また、畑の真ん中には職員の手作りの「ウッドデッキのテラス」があり、

天気の良い日には利用者さんが四季折々の風景を見て楽しむことが出来るそうです。今まで収穫した野菜はジャガイモ、キャベツ、トウモロコシ、キュウリ、枝豆、トマト、なす、オクラ等があり、また、ヒマワリやひょうたん、桃や栗等も栽培されておりました。ひょうたんは乾燥させて皆さんで絵を書いて飾られたそうです。たくさん野菜が収穫できた時にはありのみ農園の「たより」を発行してご家族にも





収穫の喜びをお知らせしておりました。参加する利用者さんは元農家のため、野菜作りにおいては職員より「先生」とのことです。収穫された野菜は、施設の行事でスイカ割りや芋煮会に提供したり、ジャガイモを蒸かして、バターまで手作りして食べたりと、いろいろ工夫されておりました。

最近は利用者さんの体力的なこともあり参加者が少なくなってきたとお話がありましたが、利用者さんが野菜を育て自ら収穫することで季節を感じたり、収穫して食べることで喜びや楽しみが生まれるそうです。

今回、見学させていただき園芸療法（野菜作り）を通じて、野菜作りの楽しみや収穫し食べることでの喜びを聞かせていただきました。「利用者さんが先生です。」という言葉にはとても感動いたしました。皆さんもぜひ見学に行かれてみてはどうでしょうか。



ケアホーム白井 住所：〒270-1406 千葉県白井市中170
電話：047-492-2000
定員：入所125名 通所50名

Care Home
Shiroy

介護職員研修会

《高口光子氏の語る看護介護のリーダー論》

平成22年7月30日(金)ホテルポートブラザらにて介護職員研修会が開催され42施設から64名が参加しました。

介護老人保健施設鶴舞乃城看護・介護部長高口光子氏を講師にお迎えし、「介護の仕事を考える」看護介護のリーダー論をテーマに講義がありました。

高口氏の熱い語りに参加者は大きく頷き、映し出される利用者のほじける笑顔にほろりとしながら聞き入っていました。研修目的の「介護という仕事と介護を担う自分自身について改めて考えること」により、これまでおこなってきたケアを振り返り、さらに質の高いケアの実践に向けて現状を見直す機会とする。は多くの参加者が達成できたことと思います。会場では高口氏の書籍の販売も実施され、多くの参加者が長い列を作っていました。



講師 高口 光子 氏

今回の講義は通常数日間をかけて実施する内容を、6時間に集約して頂きました。
・看護介護に必要なリーダーシップについて
・介護リーダーに必要なケア技術・新人教育と指導のポイント・スタッフとの有効なコミュニケーションとかかわり方・リーダーとしての介護施設のケアマネジメントについて講義がありました。

リーダーが一番大切にする事は「何の為に、何の仕事をしているのかを言葉にすること。」である。私たちの仕事は「この施設にあわせたお年寄りをつくる為に給料をもらっているわけではない。」等、当然であるが実際は難しくやり切れていない実情を鋭く語られていました。高口氏のアドバイスのもと実践された個浴への入浴改善のエピソード、そして鶴舞乃城のスタッフと利用者の様子には多くの参加者の心が動かされ、会場は熱気につつまれていました。



参加者の感想



慈風苑
介護職員 林 健一

現在私の職場でも、お話を挙がっていた様な問題が起きており、業務の見直し・意識改革が必要な状況になっています。主任・リーダーとなり、職員を引っ張っていく存在となるために、今一度「自分が何を目的に、どういう事をしたいのか」をハッキリと口に出し、具体的に行動に移していく事で現場を引っ張っていかたい、と思います。

自分の立ち位置を確認する良い機会となりました。



まくはりの郷
介護福祉士 高濱 和憲

「何の為に何の仕事をしているのか？」日々、介護という仕事を行っている自分にとって、その当たり前の問いに、改めて考えさせられました。利用者様の当たり前の生活の上に成り立つ、その人らしい生活を支援する為に質の高いケアを実践していきたい...。

もう一度自分を見つめ直す良い機会となりました。



福祉車両の販売・メンテナンス
インジニアス株式会社

〒1140004 東京都北区堀船3-32-11 tel.0363962311
フリーダイヤル 0120-023-238



福祉車両の
プロフェッショナルに
お任せください。

ホームページにて **福祉のひろば** を開設しました。
無料掲載をご希望の施設様はお問い合わせ下さい。

<http://www.ingenious.co.jp/>



『半世紀以上を生きてきて』

うらら

杉田 桂子(准看護師)

私が、現在勤務している『うらら』に入職する迄の経過について、書きしたためたいと思います。

二十二歳で結婚を機に仕事を退きました。一男三女の子を授かり育児に専念、末



娘が中学卒業すると共に、四十五歳で看護への再就職をして、一般科の病院で十八年(六十歳の定年を終え、その後三年嘱託として勤務しました)六十三歳の時、前々から幾分興味のあった老人施設へ勤務場所を変えてみました。現在六十八歳、今年で五年目になります。まだまだ体の動きには充分自信があり、活気のある職場で息子や娘と同年齢それ以下の若者と共に働き、自分自身の老いを感じません。体を動かす事による楽しみ、まだまだ充分に働けると言う自分なりの自信、趣味もいろいろあり充実した日を送っています。私の子供達もそれぞれ独立・結婚し、孫が八人おります。

現在は夫と二人暮らし、趣味の一つとして夫の運転で、二、三カ月毎に二泊三日の旅を楽しんでいます。旅を始めたのは三年前からです。心と体にゆとりを感じ、何の目的があつて行く旅ではありませんが、場所場所でおいしい物を食べお風呂に入って体を癒す夫婦の絆をつなぐ事のできる良い薬となっています。生活にゆとりができれば心にもゆとりがもてる、そういう人生を歩める人間になれる様な努力も必要だと思います。

「長い物に巻かれる」と言う言葉私は大嫌い。正しい事は正しいと、私はそう言う信念でこの長い人生を生きてきました。現在の若者たちに伝えたい、自分に与えられた仕事の甘えは許されない、自分が今している仕事は他人に誇れる仕事だ、体を動かす事への喜び、学べる充実感を養ってほしいと思う日々であります。

ST分科会よりのお知らせ



言語聴覚士 (ST) 分科会 (ST) 分科会 はリハビリ部会の小部会として平成17年に発足し、現在、役員3名で年2回の分科会を企画・運営しています。日頃の業務の中で気になる事

柄をテーマに掲げ、各施設の取り組みなど情報交換等を行なっています。全施設のSTを参加対象としていますが、STがいない施設もあり過去にはその施設のOTが参加されたこともあります。昨年度に引き続き、今年度も千葉県言語聴覚士会介護保険委員会との合同勉強会を開催する予定です。老健勤務のSTはまだまだ少なく、交流の場も限られているかと思ひます。分科会は新人からベテランまでのSTが集まり、アットホームな雰囲気でも何でも相談しやすくなったり様々なアドバイスを業務のヒントにももらえます。常勤・非常勤問わず、多くのSTの皆様への参加をお待ちしています。



第23回 介護福祉士国家試験 本番直前！筆記試験対策

1 Web模擬試験 本番までの学習課題を診断！

実施期間 12月18,19,20日 個別診断表の提示 12月23日

2 過去問トレーニング 弱点克服で得点力をアップ！

国家試験終了まで利用できるパソコンを用いた学習システム

費用：模試と過去問トレーニングあわせて 2,500円 (税込)

詳しくは <http://2941.jp> をご覧下さい

福祉の仕事をめざす人を応援する



運営：株式会社ジェイシー教育研究所
赤マル福祉・事務局

TEL：043-247-4321



なのはな スマイル



…施設の笑顔紹介



九十九里浜の潮風が届く、のどかな田園地帯に平成2年に開設。地域の皆様、利用者様の笑顔に支えられ、20周年を迎えることが出来ました。当初からの「明るく、楽しく、家庭的に」をモットーに利用者様1人1人のニーズに対応出来る施設を目指しております。

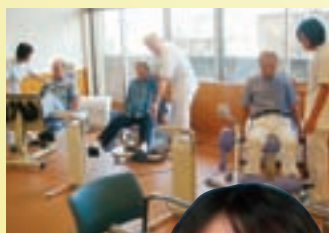
利用者さんの笑顔は、
心の元気度!!
私はいつも笑顔を決やらず、
日々、治療を頑張っています!!

●ハートビレッジ
理学療法士 小川 美紀子



■ ハートビレッジ

住所：千葉県山武市蓮沼ニ5035-4
電話：0475-86-3993
開設日：平成2年5月23日
入所：90名
通所：24名



東に鹿野山、晴れた日は西に富士山を望める緑豊かな環境に当施設はあります。『自分らしい豊かな老後を目指す為、家族に相応する介護』を職員一同心掛けております。またロコモ対策の新しい機器も導入し介護予防も含め更にリハビリの充実を図ってまいります。

いつも笑顔を決やらず
一人一人にあった食事を
美味しく召し上がって頂ける様に
日々頑張っています。

●メディケアー君津
管理栄養士 野村 典子



■ メディケアー君津

住所：千葉県君津市八幡62-1
電話：0439-50-3111
開設日：平成14年11月6日
入所：100名
通所：50名

老健ちばカレンダー

10月

- 18日(月) 介護技術研修会(移動、移乗)
『千葉県社会福祉研修センター』
- 21日(木) リスクマネジメント研修会
『千葉県教育会館』

11月

- 30日(火) 施設ケアマネジャー研修会
『千葉県教育会館』

12月

- 1日(水) 栄養管理研修会
『千葉県教育会館』
- 16日(木) 研究事例発表大会
『千葉市文化センター』

●編集後記

- 我が家の長男(2歳)は現在、アンパンマンに夢中です。買い物に行く度に「アンパンチ」と知らない人に襲い掛かり困っています。(笑)(原)
- 今年はとにかく暑かったです。稲刈りも八幡のお祭りも終わり、ようやく秋を感じています。(神作)
- 猛暑、酷暑、炎暑? がようやく終わり、秋たけなわとなりましたが…夏バテなのか、単なる歳なのか、やけに疲れを感じる今日の頃。まずは美味しいものを食べてがんばりま〜す。(坂本)
- 気持ちの良い秋晴れのある日、千葉国体の自転車ロードレースで立哨員として活躍しました。貴重な経験でした。(若林)
- 10月から煙草が値上げされました。これを機に思い切って「禁煙を!」とも考えましたが…ふうっ、愛煙家にとっては実に肩身の狭い世の中になりました。(斎藤)
- ちょっと遠くまで足を延ばしてみたい季節になりました。今年の秋はベビーカーを押してハイキングにでも行こうかな? (佐々木)